

## 性能評価用提出図書（別添） 作成要領

### （区画貫通部用）

#### 注意事項

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書(別添)です。
- 2) 図書のサイズは特に指定されたもの以外はA4版としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定通りの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS 明朝体・サイズは10ポイント、数字・単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS・WORDを使用してください。）
- 5) 上書きを使用する場合は、このページを削除し、作成要領に従って作成してください。  
3章は6章と自動リンクしており編集不要です。4章以降の入力をお願いします。  
自動リンクは6章入力直後には反映されませんが、「編集」－「すべて選択」の後「F9」を押すと反映されます。  
「項目」、「仕様」欄は、元の文字を先に消してしまうとリンクが途切れますので、元の文字の左上にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除してください。

ハウスプラス住宅保証株式会社  
評定室

網掛け表示部分は、本仕様に対応した材質、寸法、規格番号、数値等を記入してください。

## 1. 構造名

〇〇／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

## 2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
開口部	形状 矩形
	面積 〇〇m <sup>2</sup> 以下 (φ〇〇m以下)
占積率 (開口面積に対する給・排水管、ケーブル断面面積の総合計の割合)	〇〇%以下
貫通する壁の構造等	鉄筋コンクリート (中空壁を除く) ・厚さ 〇〇以上

## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

3章は6章と自動リンクしているため、編集作業不要です。4章構造説明図以降の作成をお願いします。

(寸法単位：mm)

項目	仕様
Ⅰ 電線管・ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本数 〇〇本以下</li> <li>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1)①③の組合せ</li> <li>(2)②③の組合せ</li> <li>(3)③のみ</li> <li>①鋼製電線管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS 0 0000</li> <li>・外径 〇〇±〇〇以下</li> <li>・肉厚 〇〇±〇〇以下</li> <li>・本数 1本以下</li> </ul> </li> <li>②合成樹脂製可とう電線管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS 0 0000</li> <li>・外径 〇〇±〇〇以下</li> <li>・肉厚 〇〇±〇〇以下</li> <li>・本数 3本以下</li> </ul> </li> <li>③ケーブル <ul style="list-style-type: none"> <li>・総有機量 〇〇kg/m以下</li> <li>・規格 次の規格のうち、いずれか一仕様とする JIS 0 0000、0 0000、……</li> <li>・外径 〇〇以下</li> <li>・導体断面積 〇〇mm<sup>2</sup>以下</li> <li>・導体種類</li> </ul> </li> </ul>

項 目	仕 様
	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1)銅 2)〇〇 ・絶縁体 1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1)〇〇系樹脂 2)なし ・シース 1)~3)のうち、いずれか一仕様とする 1)〇〇系樹脂 2)〇〇系樹脂 3)なし ・介在物 1)~3)のうち、いずれか一仕様とする 1)紙 2)ポリプロピレン 3)なし ・本数 総有機量を各ケーブルの有機量で除した数以下且つ総導体断面積を各ケーブルの導体断面積で除した数以下
2 鋼製開口枠	・材質 〇〇 ・厚さ 〇〇 ・高さ 〇〇
3 ケーブルラック	・材質 〇〇 ・厚さ 〇〇
4 防火措置材	[1]耐熱シール材 [1]-1 〇〇系〇〇 ・組成(質量%) 無機質充てん材 50 <sub>±1</sub> 〇〇 25 <sub>±1</sub> 〇〇・顔料 25 <sub>±1</sub> ・充てん厚さ 〇〇以上 ・比重 〇〇 <sub>±0.0</sub> g/cm <sup>3</sup>
5 ●〇〇 (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)
6 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
7 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
8 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
9 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
10 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
11 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
12 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
13 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
14 ●○○	●認定仕様を記入してください。
15 ●○○	●認定仕様を記入してください。
16 ●○○	●認定仕様を記入してください。
17 ●○○	●認定仕様を記入してください。
18 ●○○	●認定仕様を記入してください。
19 ●○○	●認定仕様を記入してください。
20 ●○○	●認定仕様を記入してください。

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①固定部材	[1]本体 ・材質 ○○ ・寸法 ○○ [2]六角ボルト ・種類 六角ボルト ・規格 JIS 0 0000 ・呼び MO 表面 電気めっき
②受け金物	[1]仕切板用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○ ・固定方法 1)～3)のうち、 いずれか一仕様とする 1)粘着テープ (○○系) 2)耐火接着剤 (○○系) 3)なし [2]鋼製電線管用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○
③●○○ (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	●認定仕様を記入してください、(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)
④●○○	●認定仕様を記入してください。
⑤●○○	●認定仕様を記入してください。
⑥●○○	●認定仕様を記入してください。
⑦●○○	●認定仕様を記入してください。
⑧●○○	●認定仕様を記入してください。
⑨●○○	●認定仕様を記入してください。
⑩●○○	●認定仕様を記入してください。
⑪●○○	●認定仕様を記入してください。
⑫●○○	●認定仕様を記入してください。
⑬●○○	●認定仕様を記入してください。
⑭●○○	●認定仕様を記入してください。
⑮●○○	●認定仕様を記入してください。

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
⑩●○○	●認定仕様を記入してください。
⑪●○○	●認定仕様を記入してください。
⑫●○○	●認定仕様を記入してください。
⑬●○○	●認定仕様を記入してください。
⑭●○○	●認定仕様を記入してください。

#### 4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

- ・図を載せてください。
- ・構造説明図には、表中の項目（〇〇管、ケーブル、受け金物…等）すべてを引き出し線で記入してください。

正面図

断面図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

・耐熱シール材

正面図

断面図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

## 5. 施工方法等

施工手順及び施工図を以下に示す。

### ①貫通開口部の設定

電線管サイズ,本数及び占積率を考慮して  
貫通開口部を設ける。

### ②電線管の設置

電線管の設置を行い、支持・固定する。

### ③耐熱シール材の巻き付け

耐熱シール材を電線管に対して一周以上巻き付けて

.....固定する。

この時、耐熱シール材と配管との間に隙間がないよう  
に注意し確認する。

### ④耐熱シール材のスライド

耐熱シール材を電線管に沿わせて耐熱シール材の先端が  
床面と同一面になるようにスライドさせる。

### ⑤埋め戻し

貫通開口部と耐熱シール材の隙間に、 $\text{○○mm}$ 以上  
充てん材にて埋め戻しする。

埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。

左側の項目に合わせて図面を入れて  
ください。

6. 評価方法

6-1. 試験体の選定

1. 寸法および形状等

申請される構造の仕様を仕様欄に全て記載してください。

打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。

項目		試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
開口部	形状	矩形	矩形	仕様と同じ
	面積	〇〇㎡ (φ〇〇m)	〇〇㎡以下 (φ〇〇m以下)	遮炎性上不利となる最大
占積率 (開口面積に対する給・排水 管、ケーブル断 面積の総合計の 割合)		〇〇%	〇〇%以下	遮炎性上不利となる最大
貫通する 壁の構造等		鉄筋コンクリート ・厚さ 〇〇	鉄筋コンクリート (中空壁を除く) ・厚さ 〇〇以上	・遮炎性上不利となる最小

(寸法単位：mm)

2. 材料構成

1) 主構成材料

試験体に選定された構造を記載してください。数値は全て確定値(「以上」「以下」「±」等は付けない)で記載してください。また、別途作成いただく製作チェックリストはこの欄をそのままコピーして作成願います。

仕様に対して試験体を選んだ理由を、項目毎に全て記入してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
① 電線管・ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本数 〇〇本</li> <li>②③の組合せ</li> <li>③               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS 0 0000</li> <li>・外径 〇〇</li> <li>・肉厚 〇〇</li> <li>・本数 3本</li> </ul> </li> <li>③               <ul style="list-style-type: none"> <li>・総有機量 〇〇kg/m</li> <li>・規格 JIS 0 0000</li> <li>・外径</li> <li>・導体断面積 〇〇mm<sup>2</sup></li> <li>・導体種類</li> <li>〇〇</li> <li>・絶縁体</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本数 〇〇本以下</li> <li>(1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1)①③の組合せ</li> <li>(2)②③の組合せ</li> <li>(3)③のみ</li> <li>①鋼製電線管           <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS 0 0000</li> <li>・外径 〇〇±〇〇以下</li> <li>・肉厚 〇〇±〇〇以下</li> <li>・本数 1本以下</li> </ul> </li> <li>②合成樹脂製可とう電線管           <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS 0 0000</li> <li>・外径 〇〇±〇〇以下</li> <li>・肉厚 〇〇±〇〇以下</li> <li>・本数 3本以下</li> </ul> </li> <li>③ケーブル           <ul style="list-style-type: none"> <li>・総有機量 〇〇kg/m以下</li> <li>・規格 次の規格のうち、いずれか一仕様とする JIS 0 0000、0 0000、……</li> <li>・外径 〇〇以下</li> <li>・導体断面積 〇〇mm<sup>2</sup>以下</li> <li>・導体種類</li> <li>1), 2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1)銅</li> <li>2)〇〇</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遮炎性上不利となる最大</li> <li>遮炎性上不利となる(2)</li> <li>②           <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様と同じ</li> <li>・外径、肉厚、本数 遮炎性上不利となる最大</li> </ul> </li> <li>③           <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮炎性上不利となる最大</li> <li>・試験体仕様による</li> <li>・外径、導体断面積 遮炎性上不利となる最大</li> <li>・遮炎性上不利となる2)</li> </ul> </li> </ul>

主構成材料の部材名の頭文字は項目順番号を□で囲った文字を使用してください。

仕様が複数存在する場合、「(\*)~(\*)のうち、いずれか一仕様とする」と記載してください。



(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
9 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
10 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
11 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
12 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
13 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
14 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
15 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
16 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
17 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
18 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
19 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
20 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

金物や留付け材など副構成材料を記載してください。

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
①固定部材	[1] 本体 ・材質 ○○ ・寸法 ○○ [2] 六角ボルト ・種類 六角ボルト ・規格 JIS 0 0000 電気めっき	[1] 本体 ・材質 ○○ ・寸法 ○○ [2] 六角ボルト ・種類 六角ボルト ・規格 JIS 0 0000 ・呼び MO 表面 電気めっき	[1] ・材質、寸法 仕様と同じ [2] ・種類、規格、呼び、表面 仕様と同じ
②受け金物	[1] 仕切板用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○ ・固定方法  なし [2] 鋼製電線管用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○	[1] 仕切板用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○ ・固定方法 1)～3)のうち、 いずれか一仕様とする 1) 粘着テープ (○○系) 2) 耐火接着剤 (○○系) 3) なし [2] 鋼製電線管用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○	[1] ・材質、厚さ、寸法 仕様と同じ ・遮炎性上不利となる 3) [2] ・材質、厚さ、寸法 仕様と同じ
③●○○ (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください、(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体選定理由を記入してください。
④●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑤●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑥●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑦●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑧●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑨●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑩●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑪●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

副構成材料の部材名の頭文字は項目準番号を○で囲った文字(丸付き数字)を使用してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
	ださい。	い。	ください。
⑫●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑬●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑭●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑮●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑯●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑰●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑱●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑳●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

#### 6-2.試験方法

- ・試験は、6-1 に示した試験体について、当社が制定した「防火区画等を貫通する管の性能試験・評価業務方法書」に基づき 60 分遮炎性能試験を実施した。

#### 6-3.試験の結果

[遮炎性能試験](加熱 60 分)

- (1) 非加熱側へ 10 秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (2) 非加熱面で 10 秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (3) 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

#### 6-4.評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

#### 7. 申請者連絡先

会社名：  
所在地：  
電話：

連絡先を記載してください。